

目次

このガイドについて.....	3
FCC 声明	3
WEEE 指令.....	4
CE 規制の通知	4
バッテリー警告	4
設置におけるご注意.....	5
使用上のご注意	6
1 はじめに	7
1.1 特長	7
1.2 パッケージの内容.....	7
1.3 製品の概要	8
2 ご使用の準備	9
2.1 microSD カードの挿入.....	9
2.2 車内への設置	10
2.2.1 吸盤式ブラケットでの設置	10
2.2.2 シール式ブラケットでの設置	11
2.3 電源への接続	12
2.4 ステータス表示.....	13
2.5 機器の電源オン/オフ	14
2.5.1 自動電源オン/オフ	14
2.5.2 手動電源オン/オフ	14
2.5.3 リセット.....	14
2.6 初期設定	15
2.6.1 日付と時間の設定.....	15
2.6.2 言語の設定.....	15
2.6.3 衛星時刻同期の設定.....	16
2.6.4 時間帯の設定.....	16

3	ドライブレコーダーの使用	18
3.1	ビデオ録画	18
3.1.1	録画画面	18
3.1.2	自動ビデオ録画	19
3.1.3	緊急録画	20
3.1.4	静止画の撮影	20
3.2	安全運転支援機能	21
3.2.1	長時間運転アラート	21
3.2.2	車線逸脱アラート	22
3.2.3	追突防止アラート	23
3.2.4	駐車モード	23
3.2.5	スピードカメラアラート	26
3.2.6	LCD画面の2グリッド表示	27
3.3	ファイル再生	28
3.3.1	再生	28
3.3.2	再生画面	29
3.3.3	ファイルの削除	30
4	メインメニュー	31
4.1	メニューの使用	31
4.2	メニュー項目	32
5	ソフトウェアのインストール	35
6	スーパーカー（付属ソフト）	36
7	仕様	37

このガイドについて

ユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

FCC声明

本機は、FCC規則第15章に定められたクラスBデジタルビデオカメラに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、適合が認定されています。これらの規制要件は、一般住居での使用に際して有害な干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。本機は電磁波を発生、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従わず設置および使用された場合は、無線通信に電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら、この場合でなくても、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機の電源を切ったり入れたりすることで、ラジオやテレビの受信に対する干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかもしくは複数を用いて干渉を改善することが望まれます。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の電源回路に本機を接続する
- 取扱店または技術者に相談する

本機はFCC規則第15章に準拠しています。本機の動作には、次の二つの条件を満たす必要があります：①有害なノイズを発生させないこと。②誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項：コンプライアンスに責任を負う者によって承認されていない変更もしくは改造を行った場合、本機を使用するためのユーザーの権限が無効になります。

※FCC（Federal Communications Commission：連邦通信委員会）は、アメリカ合衆国の放送通信事業の規制監督を行う機関です。

WEEE指令

EUにおける一般家庭ユーザーによる電気・電子機器およびバッテリーの廃棄に関して



製品または梱包物にある左記のマークは、当該製品を家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気・電子機器およびバッテリーを廃棄する際は、適切な回収計画に従って取り扱わなければなりません。本機のリサイクルに関する詳細は、お住まいの市町村またはお近くの家庭ごみ廃棄物処理業者にお問い合わせください。資源の再利用によって天然資源を保全し、人の健康と環境を保護する方法でリサイクルされます。

※WEEE指令（Waste Electrical and Electronic Equipment Directive：電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会及び理事会指令）は電気・電子製品の廃棄に関する欧州連合の指令です。

CE規制の通知

本製品は、低電圧指令2014/35/EU、並びに電磁両立性指令2014/30/EU、電池指令2006/66/EC、無線・電気通信端末機器指令1999/5/EC、及び有害物質使用制限指令2011/65/ECで求められる要求事項に適合しております。

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱くと、爆発を招く恐れがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたり、ショートさせたりしないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手が届かない所に保管してください。
- ❖ バッテリーは絶対に火気に投げないでください。爆発することがあります。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ バッテリーの交換は決して自分で行わないでください。

設置におけるご注意

1. 最大に広角の風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. 雨の場合もクリアな録画ができるよう、レンズは必ずワイパーのワイプ範囲内にあるように設置してください。
3. 指でレンズに触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ映像や静止画の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機をカラーフィルム装着のガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 本機は、カラーフィルムに妨げられない場所に設置してください。
6. 本機は明るいフロントガラス、または薄色の耐熱フィルムガラスに適しており、暗色ガラスあるいは暗色の耐熱フィルムガラスに設置するとビデオ画質の劣化につながります。
7. 付属のカーアダプターで電源に接続して使用してください。他社製品を使用した電源接続は、機器の燃焼やバッテリーが爆発するおそれがあります。
8. 本機には本体設置用のブラケットが2種類付属しています。吸盤ブラケットは一時的な設置用で、定期的に設置しなおす必要があります。接着ブラケットは1回のみ使用できる長期設置用です。設置場所が確定している場合は、接着ブラケットをご使用ください。ブラケットは最も広い範囲が録画できる位置に設置してください。ドライバーの視界を遮ったり、安全運転に影響する場所にブラケットを設置しないでください。HPおよびHPの公認パートナーは、ブラケットの不適切な設置や、吸盤ブラケットの吸着力低下による落下などによる破損またはデータ損失に対しいかなる責任も負いません。

使用上のご注意

- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は本機を操作しないでください。
- ❖ 時刻と日付を正しく設定してから本機をご利用ください。
- ❖ 本機の安全運転機能は目安です。実際の道路状況に従ってください。
- ❖ 本機のGPS位置測定はその精度を保証するものではありません。実際の道路状況や交通規制などを優先して走行してください。
- ❖ GPS位置測定の精度は、高い建造物の付近やトンネル、地下、森林等の場所や天候等によって影響を受けます。GPSの衛星信号はガラス以外の個体を通過することができません。カラーフィルムもGPS衛星信号の受信に影響を与えることがあります。
- ❖ GPS衛星信号の受信性能は機器により異なる場合があります。
- ❖ 本機に表示される速度、方位、スピードカメラ設置ポイントと距離警告などの数値は、外的要因により誤差が生じる場合があります。あくまで参考としてご利用ください。
- ❖ 本機は適用される法律の範囲内で、非営利の目的にご使用ください。弊社は本機及び付属ソフトウェアのご使用中に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ 使用中、本機は熱を持ちますが、これは正常な状態です。
- ❖ 本機の不適切な使用または操作は、本機または付属品の損傷の原因となり、保証の適応外となります。
- ❖ ユーザーによる分解は絶対に行わないでください。
- ❖ HPおよびHPの公認パートナーは操作中に発生した、いかなるデータ / コンテンツの損失に対しても責任を負いません。

本機及び付属ソフトのご使用開始により、上記の通知やご注意に同意されたものとさせていただきます。

1 はじめに

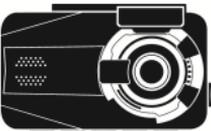
弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

1.1 特長

- SONYセンサー, 低光強化
- Full HD (1920 × 1080), 27.5fps / 30fps
- 3インチ LCDカラーモニター
- 広角レンズ
- 安全運転機能
- Gセンサーの自動緊急録画

1.2 パッケージの内容

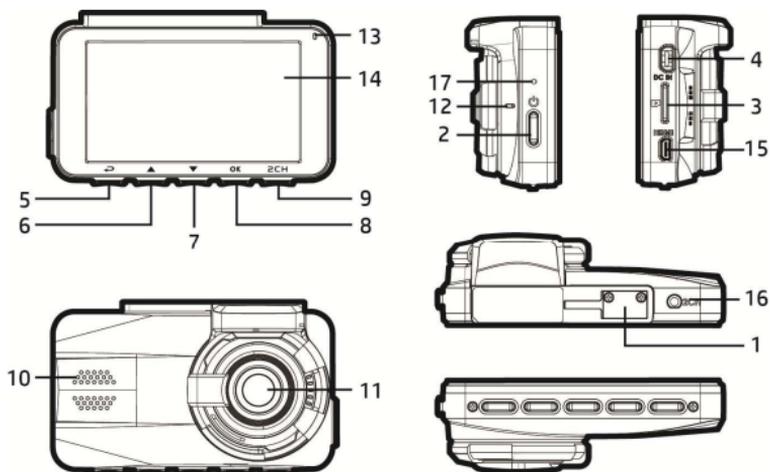
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー	ブラケット(2種)	カーアダプター
		
CD-ROM	取扱説明書	保証書
		

注意:

設置場所が確定している場合は、接着ブラケットの使用を推奨します。ドライバーの視界を遮ったり、安全運転に影響する場所にブラケットを設置しないでください。HPおよびHPの公認パートナーは、ブラケットの不適切な設置や、ブラケットの吸着力低下による落下などによる破損またはデータ損失に対しいかなる責任も負いません。

1.3 製品の概要



番号	項目
1	ブラケットソケット
2	[電源]ボタン
3	メモリーカードスロット
4	USBコネクタ
5	[戻る]ボタン(戻る / 戻る)
6	[上]ボタン(▶ / ▲)
7	[下]ボタン(◀ / ▼)
8	[入力]ボタン(▲ / 確認)

番号	項目
9	カメラ切り替えボタン (カメラ / 2CH)
10	スピーカー
11	広角レンズ
12	内蔵マイク
13	LEDインジケータ
14	LCDカラーモニター
15	HDMIコネクタポート
16	リアカメラコネクタポート (オプション)
17	リセットボタン

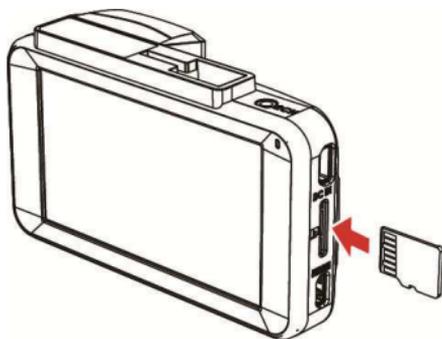
注意:

本機を操作するには、画面のガイドアイコンに従って、対応するボタン (5,6,7,8,9) を押します。

2 ご使用の準備

2.1 microSDカードの挿入

microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くように挿入し、カチッと音がして、所定の位置に収まるまでmicroSDカードを押します。



microSDカードの取り出し

microSDカードを押し込むと、カードがメモリーカードスロットから外れて出てきます。

注意：

1. 本機の電源がオンになっている時は、microSDカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、microSDカード及びデータが損傷することがあります。
2. Class 10以上の定格のmicro SDカード（8 GB以上、最大32GB）を使用してください。
3. 初めて使用する時はmicro SDカードをフォーマットしてください。
4. microSDカードを取り外す時、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリーカードスロットにはバネが入っています。
5. 定期的にmicroSDカードのフォーマットを行ってください（推奨期間：1ヶ月に一度）。

2.2 車内への設置

注意:

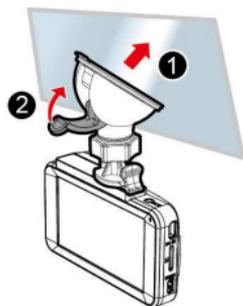
本機はカラーフィルムを装着したガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。

2.2.1 吸盤式ブラケットでの設置

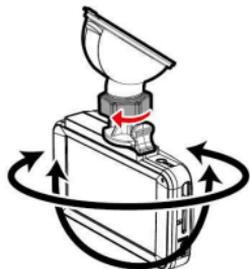
1. ブラケットを本機上部のブラケットスロットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。
2. ブラケットを取り付ける前に、フロントガラスとブラケットの吸盤の汚れを取ってください。



3. 吸着カップをフロントガラスに平行に押し付けます。
4. ブラケットのヘッドのレバーを引き、フロントガラスに吸盤をしっかりと押し当て、レバーを戻します。ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。



5. ノブを緩め、本機の位置を調整します。
6. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。



2.2.2 シール式ブラケットでの設置

1. ブラケットを本機上部のブラケットソケットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押し込みます。



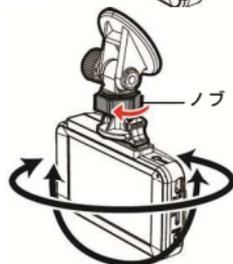
2. 接着ブラケットから保護シールをはがします。



3. フロントガラスにブラケットをしっかりと押し当て、ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。



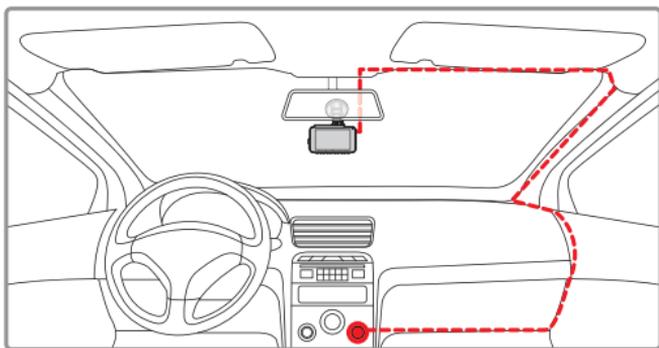
4. ノブを緩め、本機の位置を調整します。
5. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。



2.3 電源への接続

付属のカーアダプターを使用して電源供給し、内蔵バッテリーを充電します。

1. カーアダプターのミニUSB端子を本機のUSBコネクターに接続します。(USBポート入力: DC 5V / 1A)
2. カーアダプターのシガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。(車両充電器入力: DC 12 / 24V)



注意：

本機はバックミラー近く、フロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。

2.4 ステータス表示

バッテリーステータス

アイコン	説明
	バッテリーは充電済です
	バッテリーは2/3残っています
	バッテリーは1/3残っています
	バッテリーの残量がありません
	バッテリーは充電中です
	カーアダプターから電源を供給しています バッテリーは充電済です

注意：

1. 周囲温度が45℃以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。
2. 周囲温度が氷点下になると、電源は入りますが操作できません。

LEDインジケーター

ステータス説明	LEDインジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー充電済	LEDオフ
電源オン、録画待機中	緑
電源オン、録画中	赤点滅

2.5 機器の電源オン/オフ

2.5.1 自動電源オン/オフ

自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。

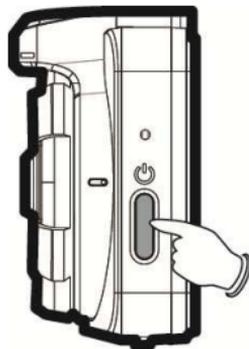
注意:

自動電源オン/オフは、電源がシガーライターソケットに接続されていることを前提とします。

2.5.2 手動電源オン/オフ

手動で電源を入れる場合は、[ (電源)] ボタンを押します。

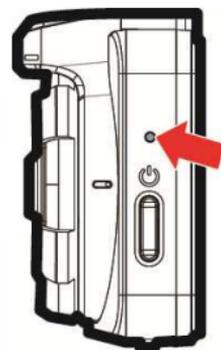
電源を切るには、[ (電源)] ボタンを最低2秒長押ししてください。



2.5.3 リセット

本機がエラーを起こした場合はリセットをお試しください。

リセットするには、ピンまたはクリップを差し込んで、リセットボタンを最低5秒長押ししてください。その後、電源を入れ直してください。



2.6 初期設定

本機を使用するにあたり、日時、時間帯、言語を設定してください。なお、工場出荷状態では自動録画機能が有効となっております。初期設定を行い録画待機画面に移動後、自動的に録画を開始します。録画を停止するときは、 ボタンを押します。

2.6.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順に従ってください。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【日時】を選択し、OKボタンを押します。
3.  ボタンを押して数値を調整した後、OKボタンを押して別の項目に移動します。
4. 日付と時間の設定が完了するまでステップ3を繰り返します。最後にOKボタンを押して設定を確定します。
5.  ボタンを押してメニューを終了します。



注意:

ご使用中に時間にずれが生じる場合があります。その場合は再度、日時の設定を行ってください。

2.6.2 言語の設定

言語を設定するには、以下の手順で有効にします。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【言語】(Language) を選択し、OKボタンを押します。
3.  ボタンを押して希望の言語を選択し、OKボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

2.6.3 衛星時刻同期の設定

正しい衛星時間帯（衛星時刻同期化）を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. ↩ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼を押して【衛星時刻同期】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼を押して【オン】を選択し、OKボタンを押します。

2.6.4 時間帯の設定

GPS信号の検出時に正しい日付と時刻が更新されるように、お住まいの地域によって、UTC設定を変更する必要があります。

1. ↩ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【時間帯設定】を選択し、OKボタンを押します。
3. 次のUTC表を参照し、▲/▼ボタン押して希望の設定を選択し、OKボタンを押して設定を確定します。日本はUTC+9の設定です。
4. ↩ボタンを押してメニューを終了します。

City	UTC	City	UTC	City	UTC	City	UTC	City	UTC
Accra	0	Budapest *	+1	Houston *	-6	Melbourne	+10	Santiago	-4
Addis Ababa	+3	Buenos Aires	-3	Indianapolis *	-5	Mexico City *	-6	Santo Domingo	-4
Adelade **	+9	Cairo	+2	Islamabad	+5	Miami *	-5	São Paulo	-3
Algiers	+1	Calgary *	-7	Istanbul *	+2	Minneapolis *	-6	Seattle *	-8
Almaty	+6	Canberra	+10	Jakarta	+7	Minsk	+3	Seoul	+9
Amman *	+2	Cape Town	+2	Jerusalem *	+2	Montevideo	-3	Shanghai	+8
Amsterdam *	+1	Casacas **	-4	Johannesburg	+2	Montreal *	-5	Singapore	+8
Anadyr	+12	Casablanca *	0	Kabul **	+4	Moscow	+4	Sofia *	+2
Anchorage *	-9	Chicago *	-6	Karachi	+5	Mumbai **	+5	St. John's **	-3
Ankara *	+2	Columbus *	-5	Kathmandu **	+5	Nairobi	+3	Stockholm *	+1
Antananarivo	+3	Copenhagen *	+1	Khartoum	+3	Nassau *	-5	Suva	+12
Asuncion	-4	Dallas	-6	Kingston	-5	New Dehli **	+5	Sydney	+10
Athens *	+2	Dar es Salaam	+3	Kinshasa	+1	New Orleans *	-6	Taipei	+8
Atlanta *	-5	Darwin **	+9	Kiritimati	+14	New York *	-5	Tallinn *	+2
Auckland	+12	Denver *	-7	Kolkata **	+5	Oslo *	+1	Tashkent	+5
Baghdad	+3	Detroit *	-5	Kuala Lumpur	+8	Ottawa *	-5	Tegucigalpa	-6
Bangalore	+5	Dhaka	+6	Kuwait City	+3	Paris *	+1	Tehran **	+3
Bangkok	+7	Doha	+3	Kyiv *	+2	Perth	+8	Tokyo	+9
Barcelona *	+1	Dubai	+4	La Paz	-4	Philadelphia *	-5	Toronto *	-5
Beijing	+8	Dublin *	0	Lagos	+1	Phoenix	-7	Vancouver *	-8
Beirut *	+2	Edmonton *	-7	Lahore	+5	Prague *	+1	Vienna *	+1
Belgrade *	+1	Frankfurt *	+1	Las Vegas *	-8	Reykjavik	0	Warsaw *	+1
Berlin *	+1	Guatemala	-6	Lima	-5	Rio de Janeiro	-3	Washington DC *	-5
Bogota	-5	Halifax *	-4	Lisbon *	0	Riyadh	+3	Winnipeg *	-6
Boston *	-5	Hanoi	+7	London *	0	Rome *	+1	Yangon **	+6
Brasilia	-3	Harare	+2	Los Angeles *	-8	Salt Lake City *	-7	Zagreb *	+1
Brisbane	+10	Havana *	-5	Madrid *	+1	San Francisco *	-8	Zürich *	+1
Brussels *	+1	Hong Kong	+8	Managua	-6	San Juan	-4		
Bucharest *	+2	Honolulu	-10	Manila	+8	San Salvador	-6		

* UTCオフセットに+1時間を追加し、DST(夏時間)に合わせて調整してください。

** この地域では、DST調整が+30分になる場合があります。

注意：

1. 衛星時刻同期がオンの場合、本機の時計は、時間帯設定に従って、衛星の時計信号により調整されます。衛星時刻同期 (4.2) 参照。
2. 衛星が車両の位置を特定できない場合、本機の時計は設定した時間に従って動きます。

3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

3.1.1 録画面面



番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	ガイドアイコン (メニュー)	☰ボタンを押して、メインメニューに入ります
4	ガイドアイコン (スピードカメラ 位置登録)	ビデオ録画中、GPS衛星信号を受信できていれば△ボタンを押してスピードカメラの位置を登録できます
5	ガイドアイコン (静止画)	▽ボタンを押して、静止画を撮影します

6	ガイドアイコン (緊急録画)	OKボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	ガイドアイコン (カメラ切り替え)	リアカメラ（オプション）接続時、  ボタンを押して、前方の映像と後方の映像を切り替えることができます
8	GPSアイコン	GPS位置測定が確立されると、緑色のアイコンが画面上に表示されます
9	速度	現在の走行速度
10	録音	音声録音の状態を表示します
11	解像度	現在のビデオの解像度を表示します
12	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
13	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します
14	リアカメラ画面	リアカメラ（オプション）の映像を表示します

3.1.2 自動ビデオ録画

自動録画機能が有効になっていると、自動車のエンジンが始動した時に、本機の電源が自動的に入り録画を開始します。エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します。または、ボタンを押して手動で録画を停止します。

注意：

車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。一部の車両モデルでは、シガーライターソケットに常時電力が供給されているため、本機の自動電源オン/オフが機能しません。この問題を回避するには、次のいずれかを行います。

- ・ ご利用の車両モデルで可能であれば、シガーライターソケットのオン/オフを手動で切り替えます。
- ・ 本機をオンにするには、手動でカーアダプターをソケットに接続し、オフにするにはソケットから外します。

3.1.3 緊急録画

通常のビデオ録画中に、OKボタンを押して緊急録画モードを開始します。

直後に「緊急録画」メッセージが画面の左上に表示されます。録画されたファイルは上書きされることがなく保護されます。録画を停止する時は、を押します。



注意：

1. Gセンサーを有効化している時に衝撃が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。
2. 緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダは、使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。たとえば8GBのmicroSDカードを使用している場合、約3.2GBは緊急録画ファイルに使用されます。緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると、一番古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。

3.1.4 静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することもできます。録画中は▼ボタンを押して、静止画を撮影します。



3.2 安全運転支援機能

この機能は安全運転のための目安です。実際の道路状況に従って運転してください。

注意:

1. 安全運転支援機能は、2種類までの警告を同時にお知らせすることができます。音声および警告メッセージが同時に発せられた場合は、どちらかの警告に対して対処すると、他の警告をお知らせします。
2. スピードカメラアラート、速度アラート、車線逸脱アラート、追突防止アラートなどの機能が、GPS測定された時のみ動作します。ご使用前にGPS測定が完了していることを確認してください。
3. 車線逸脱アラート、追突防止アラートの検知は、降雨、夜間、照明が不十分な環境で使用されると、機能の動作が不正確になることがあります。実際の道路状況に従って判断してください。

3.2.1 長時間運転アラート

長時間運転アラート機能が有効な場合、録画開始から1時間後と以後30分ごとに音声と警告画面でお知らせします。

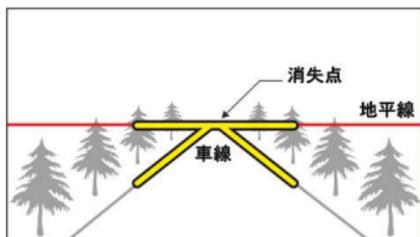
1. ↩ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【長時間運転アラート】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【オン】を選択し、OKボタンを押します。
4. ↩ボタンを押してメニューを終了します。



3.2.2 車線逸脱アラート

車線逸脱アラートが有効な場合、自動車の位置がGPS測定され、70 km/h以上で運転中に車線から逸脱すると、音声と警告画面でお知らせします。

1. ➡ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【車線逸脱アラート】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【オン】を選択し、OKボタンを押します。
4. ➡ボタンを押してメニューを終了します。
5. 車線逸脱アラートを有効にすると、録画面面に基準ラインが表示されます。車線と車線基準ラインが重なるように本機の位置を調節してください。基準ラインがボンネットなどに隠れないようにしてください。消失点が隠れていると、誤動作の原因となります。



注意：

1. 車線逸脱アラートは、自動車の位置がGPS測定された時のみ動作します。
2. 降雨、夜間、照明が不十分な環境で使用されると、車線逸脱アラートの動作が不正確になることがあります。実際の道路状況に従って判断してください。

3.2.3 追突防止アラート

追突防止アラートが有効な場合、自動車の位置がGPS測定されると、60km/h以上で運転中に前の車との距離が20m以下になった場合、音声と警告画面でお知らせします。

1. ↩ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【追突防止アラート】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【オン】を選択し、OKボタンを押します。
4. ↩ボタンを押してメニューを終了します。

注意：

1. 追突防止アラートは、自動車の位置がGPS測定された時のみ動作します。
2. 降雨、夜間、照明が不十分な環境で使用されると、追突防止アラートの動作が不正確になることがあります。実際の道路状況に従って判断してください。

3.2.4 駐車モード

衝撃検知または動体検知を有効にすると、駐車中に車両を監視することができます。

1. ↩ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【駐車モード】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【衝撃検知】または【動体検知】を選択し、OKボタンを押します。
4. ↩ボタンを押してメニューを終了します。

3.2.4.1 本機の内蔵バッテリーをご使用の場合

項目	説明
衝撃検知	電源が切れると、画面に「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に衝撃検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内にOKボタンを押すと衝撃検知モードには入らず、電源オフになります。衝撃検知中は本機が自動車への外部からの衝撃を検知すると、60秒間の緊急録画を開始します。
動体検知	電源が切れると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に動体検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内にOKボタンを押すと動体検知モードには入らず、電源オフになります。動体検知中は本機のレンズの正面で何らかの動きを検知した時、10秒間の録画を開始します。録画中に動きを検知した場合は更に録画を続け、最大[録画ファイル単位]によって設定された時間(1分または3分)録画します。

注意：

1. 駐車モードの録画はバッテリーで作動できる間に限られます。本機バッテリーは使用していくにつれて徐々に消耗していきます。
2. 満充電されている場合、本機内蔵バッテリーのみでの録画時間は最大30分程度です。
3. 動体検知の録画は、通常録画ファイルとして保存されます。
4. 衝撃検知の録画は、緊急録画ファイルとして保存されます。

3.2.4.2 常時電源コード接続で自動車のバッテリーをご使用の場合

- **衝撃検知:**

- 常時電源コード接続中は、本体バッテリー使用の場合と異なる動作をします。
- 通常録画中に「 (電源) ボタン」を3秒程長押しすると、「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。
- 駐車モードに移行後、衝撃を感知すると60秒間の緊急録画を開始します。その後、モニターオフのまま通常録画状態になり、連続して録画し続けます。

- **動体検知:**

- 通常録画状態で [ (電源) ボタン] を3秒間長押しすると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。
- 駐車モードに移行後、いずれかのボタンを押すと本機が起動し、通常録画を開始します。

注意：

常時電源で衝撃検知の駐車モードを使用すると、衝撃検知後に駐車中の録画をし続け、メモリーがいっぱいの場合は古い通常録画ファイルを消去してしまいます。

3.2.5 スピードカメラアラート

お買い上げ時、スピードカメラアラートは有効です。自動車の位置がGPS測定されると、スピードカメラに近づいた時に音声と警告画面でお知らせします。

1. ↶ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【スピードカメラアラート】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【オン】を選択し、OKボタンを押します。
4. ↶ボタンを押してメニューを終了します。
5. 自動車の位置がGPS測定され、設定したスピードカメラに近づくと、音声と警告画面でお知らせします。制限速度を超えて運転している場合、警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。



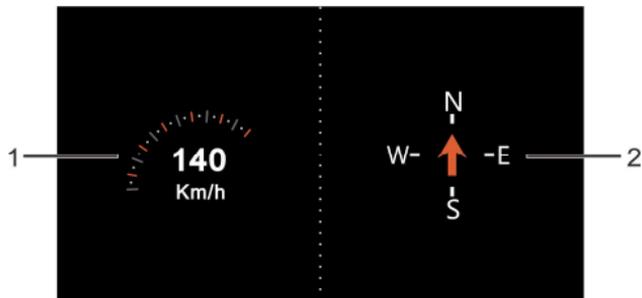
注意：

スピードカメラアラートに使用するには、スピードカメラの位置を設定しなければなりません。自動車の位置がGPS測定された状態で、スピードカメラ設置場所にて登録を行ってください。

3.2.6 LCD画面の2グリッド表示

録画画面で、[ (電源)] ボタンを押してLCD画面を2グリッド表示に切り替えて車両情報を確認できます。

[ (電源)] ボタンを再度押すと、録画画面に戻ります。



番号	項目
1	おおよその運転速度

番号	項目
2	おおよその運転方位

注意：

GPS衛星信号が受信されていない場合、運転速度、運転方位、はグレー表示になります。

3.3 ファイル再生

3.3.1 再生

1. ↶ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【ファイル再生】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して表示したいカテゴリを選択し、OKボタンを押します。
4. ▲/▼ボタンを押して、前または次のファイルを表示し、OKボタンを押してファイルをフル画面で表示します。



3.3.2 再生画面

録画再生画面



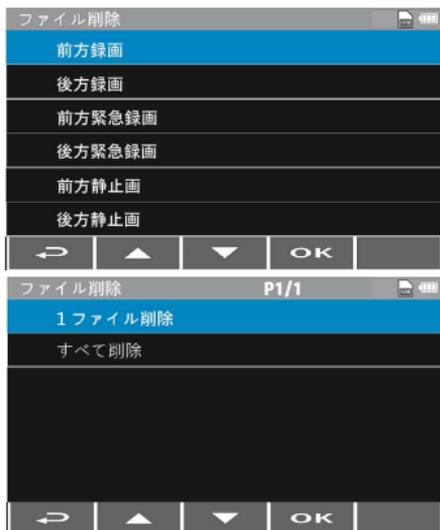
静止画再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	ファイルの録画時間
3	ガイドアイコン (戻る)	←ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	ガイドアイコン(前)	▲ボタンを押して前の録画/静止画を表示します
5	ガイドアイコン(次)	▼ボタンを押して次の録画/静止画を表示します
6	ガイドアイコン (再生)	OKボタンを押して録画/静止画を再生します
7	カメラ切り替え	リアカメラ (オプション) 接続時、🔄ボタンを押して、前方の映像と後方の映像を切り替えることができます
8	日付と時間	録画/撮影した日付と時間 (映像上に記録されています)
9	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数
10	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
11	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します

3.3.3 ファイルの削除

1. **↶**ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. **▲/▼**ボタンを押して【ファイル削除】を選択し、**OK**ボタンを押します。
3. **▲/▼**ボタンを押してカテゴリを選択し、**OK**ボタンを押します。
4. **▲/▼**ボタンを押して削除したいファイルを選択し、**OK**ボタンを押します。
5. **▲/▼**ボタンを押してオプションを選択します。



項目	説明
1ファイル削除	選択したファイルを削除します
すべて削除	すべてのファイルを削除します

6. **OK**ボタンを押して削除します。

注意：

削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは必ずバックアップしてください。

4 メインメニュー

4.1 メニューの使用

メインメニュー画面から、ビデオ録画や他の機能を設定できます。

1. **↩**ボタンを押してメインメニューを開きます。
2. **▲/▼**ボタンを押してメニュー項目を選択し、**OK**ボタンを押します。
3. **▲/▼**ボタンを押して希望する設定を選択し、**OK**ボタンを押して確定します。
4. **↩**ボタンを押してメニューを終了します。

4.2 メニュー項目

メニュー項目と設定内容については、次の表をご参照ください。

メニュー項目	説明	設定内容
リアカメラ設定	リアカメラの種類を選択します。	なし / RC3 (1080P) / H42 & H2 (720P)
ファイル再生	希望するカテゴリを選択します。	前方録画 後方録画 前方緊急録画 後方緊急録画 前方静止画 後方静止画
衛星信号ステータス	現在の衛星信号受信状態を表示します。	
衛星時刻同期	衛星の時刻に自動的に同期します。この機能が有効になっている時は衛星の時刻が使われ、手動で時刻を変更することはできません。	オン / オフ
速度単位	速度表示の単位を選択します。	km/h / mph
スピードカメラアラート	自動車が登録されたスピードカメラの位置に近づくとお知らせします。	オン / オフ
スピードカメラ位置登録	登録: 衛星の位置測定を利用し、手動でスピードカメラの位置を登録します。組み込みシステムに最大200箇所のスピードカメラの位置を登録できます。 最新登録削除: 最後に登録したスピードカメラの位置を削除します。 全登録削除: すべてのスピードカメラの位置を削除します。	登録 / 最新登録削除 / 全登録削除

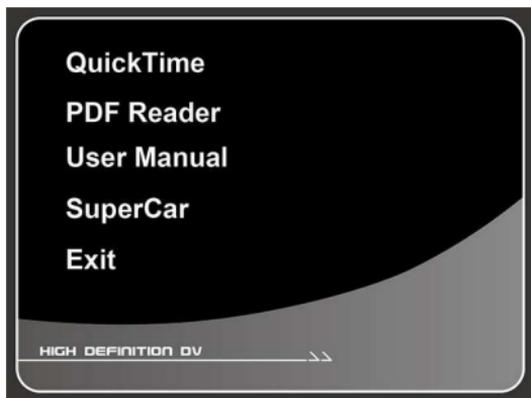
メニュー項目	説明	設定内容
制限速度アラート	制限速度を設定します。車の速度がその値を超えると警告音が自動的に鳴り始め、警告メッセージが画面に表示されます。	オフ / 50km/h ~ 140km/h
時間帯設定	使用する国のタイムゾーンを選択します。	日本の時間帯は「+09」です。
日時	日付と時間を設定します。	▲/▼ ボタンを押して数値を調整し、OK ボタンを押して項目を切り替え、確定します。
言語	画面表示の言語を設定します。	English / 繁體中文 / 日本語 / 한국어 / Русский / 中文 / Tiếng Việt
日時表示	映像への日付・時間の表示を設定します。	オン / オフ
解像度	ビデオの解像度を設定します。	1080p / 30 fps 1080p / 27.5 fps 720p / 30 fps 720p / 55 fps
明るさ	露出補正の設定。	▲/▼ ボタンを押し、露光値を設定します。+2.0から-2.0に調整することができます。
モニターオフ	ビデオ録画が開始したら、自動的にLCDモニターをオフにする時間の長さを設定します。	オン / 7秒後にオフ / 1分後にオフ / 3分後にオフ
音声録音	ビデオの音声録音を設定します。	オン / オフ
操作音	パワーサウンドとキー音の設定。	オン / オフ
音量	音量を調整します。	0~10
録画ファイル単位	設定した長さのファイルで録画を分割して記録します。	30秒 / 1分 / 3分

メニュー項目	説明	設定内容
駐車モード	駐車中に自動録画を開始する方法を設定します。	オフ / 衝撃検知 / 動体検知
Gセンサー	Gセンサーの有効/無効と検出の感度を設定します。この機能を有効にしている時に衝撃またはカメラの前の動きを検出すると、本機は自動的に録画を開始します。	オフ / 高感度 / 標準感度 / 低感度
長時間運転アラート	録画開始1時間後、および、その後30分ごとに音声と警告画面でお知らせします。	オン / オフ
車線逸脱アラート	70 km/h以上で運転中、車線を変更する際、音声と警告画面でお知らせします。	オン / オフ
追突防止アラート	60km/h以上で運転中、前の車との距離が20m以下になると、音声と警告画面でお知らせします。	オン / オフ
ファイル削除	ファイルを削除します。 注意: 削除したファイルは復旧することができません。	前方録画 後方録画 前方緊急録画 後方緊急録画 前方静止画 後方静止画
フリッカレス	周波数を設定して、LED信号機などのちらつきを軽減します	50 Hz / 60 Hz
SDカード初期化	microSDカードをフォーマットします。 注意: フォーマットすると、microSDカードのすべての内容が削除され、復旧することはできません。	はい / いいえ
設定初期化	すべての設定を工場出荷状態にリセットします。	はい / いいえ
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。	

5 ソフトウェアのインストール

1. 付属のCD ROMをCDドライブにセットします。
2. CDが自動的に実行しない場合は、Windowsファイルマネージャーを用いてCD内の**Install_CD.exe**ファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



3. 希望の[メニュー]項目を押し、画面の指示に従ってインストール処理を開始します。

6 スーパーカー（付属ソフト）



番号	項目
1	前方録画
2	再生/一時停止
3	戻る
4	次へ
5	停止
6	E-Map
7	方位
8	速度計

番号	項目
9	ファイルパス
10	ブラウザーファイル
11	ファイルリスト
12	後方録画
13	音量
14	現在の時間/合計時間
15	Gセンサー

注意:

1. E-Mapに経路を表示するには、ビデオの再生を始める前にインターネットに接続します。
2. 録画ファイル(MOV/TS)とGPS/Gセンサーファイル(NMEA)は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
3. SuperCarソフトウェアはWindowsコンピューターのみに対応です。

7 仕様

項目	説明
外形寸法	W87.6 × H53.1 × D28.5 mm
本体重量	94g (microSDカード含まず)
記録媒体	microSDカード 8 ~ 32GB対応 (Class10以上)
撮影素子	1/2.9インチSONYセンサー
有効画素数	200万画素
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.8
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
シャッター	電子シャッター
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
レンズ画角	対角155° (水平122°、垂直62°)
最大記録角	対角132° (水平121°、垂直72°)
記録解像度	1080p FHD (1920 × 1080)、720p HD (1280 × 720)
GPS	有り
Gセンサー	有り

項目	説明
マイク	有り
スピーカー	有り
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動記録
録画ファイル構成	30秒単位 / 1分単位 / 3分単位
画面サイズ	3.0インチLCDカラーモニター
音声	ON / OFF可能
フレームレート	27.5fps、30fps、55fps
録画ファイル形式	MOV
静止画ファイル形式	JPEG
記録映像再生方法	専用アプリ付属 : スーパーカー Windows Media Player、その他映像再生ソフト
インターフェイス	ミニUSB、A/V、HDMI
バッテリー	内蔵470mAh充電可能リチウムポリマー
電源電圧	DC12 ~ 24V
消費電力	2W
動作温度範囲	-10° C ~ 60° C
保管温度範囲	-20° C ~ 70° C
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

項目	説明
付属品	本体、ブラケット2種類（吸盤タイプ、シールタイプ）、カーアダプター、CD-ROM、取扱説明書、保証書

※本機および付属品は仕様の変更を行う場合があります。

※HDMI出力の際は純正のSP20L(HDMIケーブル)をご使用願います。



著作権 © 2019

無断複製、転載を禁じます。

本ガイドに記載するその他すべてのマーク、製品、または会社名は各社の商標です。